

武豊町地域公共交通会議 第19回 会議 議事録

日時：平成27年3月31日（火）

15:00～16:15

場所：思いやりセンター2階ABC会議室

1. 会長あいさつ

○事務局

- ・ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第19回会議を開催させていただきます。
- ・委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・本日、事前にお送りしました資料をお持ちでない方、ございますか。
- ・それでは会議資料の次第に従いまして取り進めさせていただきます。はじめに、開会にあたりまして会長であります町長の初山からごあいさつさせていただきます。

○初山町長（武豊町長）

- ・こんにちは。本日は年度末のご多忙のところご参加いただきありがとうございます。
- ・公共交通会議では、これまで地域公共交通総合連携計画の策定を進めてきました。
- ・利用実績について報告すると、平成22年から本年2月まで15,691人の利用があり、1日あたりでは91人の利用となっている。タクシー事業では2,019人の利用だった。
- ・免許証の自主返納者については2月末現在で188人となった。自主返納の推移としては、平成22年度では44人、平成23年度では22人、平成24年度では32人、平成25年度では39人、平成26年度では51人となり、本年度が過去最高の返納となった。
- ・地域公共交通総合連携計画の計画期間が本年をもって終了となり、法律の改訂も加わって、地域公共交通網形成計画に名称変更して本日策定したい。当該計画についてパブリックコメントを実施して1件のご意見を頂戴した。本日はこの計画の検討を予定しています。
- ・また、当該交通会議の来年度平成27年度の事業計画案について審議いただく予定です。想定している事業としてはルートの変更を行います。
- ・さらに報告事項としては、地域公共交通確保維持改善計画について予定しています。
- ・本日はこうした事項について慎重なるご議論をお願いさせていただいて、あいさつと替えさせていただきます。

○事務局

- ・それではただいまから議事に入らせていただきます。
- ・本日は、委任状を3名の委員、名簿番号14番、15番、18番の方からいただき、代理出席していただいておりますのでよろしくお願いいたします。
- ・また、4名の委員、名簿番号3番、10番、16番、19番の方からの欠席の報告を受けております。過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので規約に定める（第6条第3項）開会要件を満たしております。
- ・なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますのでよろしくお願いいたします。
- ・それでは、伊豆原先生、恐れ入りますが議事のとり進めよろしくようお願いいたします。

2. 議事

○伊豆原座長

- ・それでは、次第に従い議事を進めます。議案2件、報告1件を予定しています。

●第1号議案 地域公共交通網形成計画について

○事務局

- ・資料1～2説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。ご質問、ご意見ありますか。

○後藤委員

- ・資料2の下の部分について、本省からの意見を指摘させていただいた。遅くなり申し訳ありません。内容を充実したいという意見です。対応いただける範囲で検討ください。

○伊豆原座長

- ・パブリックコメントについては、バス停設置に対する要望です。
- ・以前からバス停を置いてほしいという意見があった場所。これまで、道路が狭く、交通量が多い。駅から近い場所として見送ってきたところですが。今回は、事務局では地元からの声もあり、協議を行うこととした。対応には少し時間を頂戴したい。計画への反映については、資料の説明のとおりです。
- ・次に本省から5点ほど指摘を頂戴した。計画の充実を図る指摘です。対応は事務局の提案のとおりで、会長、座長、事務局に一任という条件で承認いただきたい。
- ・よろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。承認ありがとうございました。
- ・変更箇所は、委員に報告するようにします。同意を頂いたとして次の議事に進みたいと考えます。

●第2号議案 平成27年度武豊町地域公共交通会議の事業計画（案）について

○事務局

- ・資料3～4説明

○伊豆原座長

- ・ご質問、ご意見ありますか。10月1日から、新しいルートで事業転換していく。
- ・事前に住民の皆さんへの説明を進めることが重要で、説明会を実施する計画を示している。なるべく丁寧に実施し利用者の混乱がないようお願いしたい。

○事務局

- ・緑ルートの利用者を中心に説明を進めたい。北部・南部にわけて、高齢者向けにもサロンでの説明も考えています。

○中川直一委員

- ・利用を促すためには、9月に敬老会があり、昨年も渋滞があった。その日に無料にするなどすれば利用が変わるのではないか。イベント時に無料にする、利用促進を進めることを提案したい。

○事務局

- ・11月の産業祭りは無料乗車の日として設定しています。社会福祉協議会主催のふれあい昼食会も無料券を配布していただいている。イベントでの活用を考えたいが、敬老会のルートの中中央公民館には通らなくなってしまう。

○中川直一委員

- ・イベント時に利用すれば、1日当たりの91人の利用よりも、多くなるような変化があるのではないか。データを出していただいて、検討をしてください。

○事務局

- ・産業祭り際には100人を超える利用があったと思う。数字を確認させていただき対応していきたい。

○大岩委員

- ・駐車場不足があったことは認識しているが、公共交通はイベント利用のためのものか。日常利用を想定するものか。
- ・公共交通はイベント利用のものではなく、日常利用のものであるべきだと思う。イベント時に無料券を配るのはよいが、イベント用に車両を使いきってしまうようなことはどうかと思う。

○中川直一委員

- ・イベント対応ではないが、渋滞緩和として考えたい。
- ・スポーツ観戦が好きなので豊田スタジアムに行くが、豊田スタジアムでは昔は渋滞していたが、最近はおいでんバスなどの有効性が理解されてか、変わってきたと思う。
- ・イベントの際に無料にして利用してもらい、利便性を確認していただいて、利用を促すということ。どんな人が利用しているかデータを取り、データを分析していきながら、議論を進めたい。

○伊豆原座長

- ・意見を整理すると、ルートをそのままにしながら、イベント時の対応を考慮しながら利用を促す提案だったと思う。イベントでは駐車場に入れない自動車がどれだけあったか、データをとおくべきだろう。調査費をかけず、写真を撮るなど工夫して、対応できる範囲でお願いできればと思う。加えて、ゆめころんの利用を促すことで、どれだけ改善できるか効果を確認すべきではないかという指摘です。
- ・一方の意見は、イベント時でなく、日常利用を促すことを中心に考えるべきとの指摘でした。

○事務局

- ・イベントは各課で対応しているので、所管課と協力しながら実態を確認したい。イベントだけでなく、日常利用を中心に捉えながら、どんな対応ができるか考えたい。

○伊豆原座長

- ・利用促進策はいろんな地域で取組みが行われています。
- ・試みとして良いと思うことは、例えば「マイ時刻表の作成」。自分の行動にあわせて、時刻表をつくってみる。単純なことだけど高齢者には必要なこと。名古屋に買い物に行くための想定時刻表を実際につくってもらって、利用の動機づけをしてもらう。時刻表を配布説明するだけでなく、実際の利用を前提とした時刻表を作ってもらおう。老人会などで、ゲームのような感覚で、やってもらったらどうか。みなさんから、こうしたアイデアを出していくことが重要だと思う。
- ・また、データもとっていくことも重要でしょう。
- ・10月から新ルートになるととまどう人が出てくる。安城市ではルートを大きく変えた。その際、市民から公募で案内人ボランティアを募集した。バスだけでなく、買い物の案内までされたようで、市民の評判が良かった。フェイスツーフェイスの対応がよかったようです。好評だったので、

今年もやろうということになった。友の会の活動もフェイスツーフェイスだと思う。説明を紙だけで行うだけでなく、フェイスツーフェイスの対応をお願いしたい。

○中川一委員

・説明会の頻度、方法は。

○事務局

・2カ月ぐらいかけて丁寧に実施したい。具体的なやり方は決めていない。PRは幅広い対応を考えたい。緑ルートは、実際に職員が乗車するなどして、説明にあたることも考えたい。

○伊豆原座長

・丁寧に対応をしてもらい、乗れなくなったと言われたいないようにお願いしたい。次回の6月にも会議を実施するので、その時にみなさんからアイデアを頂戴できればと思う。ただし、お金をかけずに、知恵でできることを考えていただきたい。
・事業計画はこれで宜しいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

・異議なしということで、承認させていただいた。
・2つの議案は、全員の了承を得たとして進めさせていただく。ありがとうございました。

●報告事項1 平成28年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○事務局

・資料5説明

○伊豆原座長

・ご質問、ご意見、ご提案など、お願いします。
・赤ルートは幹線系統として愛知県で申請対応していただくことでよろしいか。

○浅田代理（愛知県）

・新たに幹線となる新赤ルートについては、県で位置付ける予定です。
・新年度の5～6月に県バス対策協議会を開催して、位置付けていく。資料準備などは事務局の協力が必要なのでお願いしたい。

○伊豆原座長

・新赤ルートは半田市に乗り入れるため市町をまたぐことになり、幹線系統として扱う。
・青ルートだけフィーダー路線の申請となる。

○大岩委員

・住民の要請から半田市のイオンに乗り入れる。逆に、美浜町からこちらにつなぎたいという要望はないのか。

○事務局

・美浜町は白ナンバーのコミュニティバス事業があるが、国の補助金をもらっていない。そうした要望は受けていない。

○伊豆原座長

- ・白ナンバーでの無償運送は道路運送法の適用を受けない。無料の事業で、安全運行などのことがあるかと思うが、法律に伴う事業ではない。事業の仕組みが異なり関係することは法的にもしぼりは無い。

○初山会長

- ・美浜町の地域性は、東西の地区に分かれており、中央に体育館やインターチェンジがあるといった地域構造になっている。地域内の東西を結ぶという要請はあるだろうが、武豊町と結びたいという意見は聞いたことがない。

○伊豆原座長

- ・国の指導としては、まちづくり、観光交流など、交流を促すために、バスを使ってほしいという意図で法律改正を進めています。今後は、双方同士の連携は重要になってくる。
- ・次の段階ではそうした連携は議論されると思うが、現段階では行政界を超えることはハードルがある。税の投与の公平性などの問題を整理することも必要だろう。
- ・他にいかがですか。
- ・事業の効果について、友の会の活動を箇条書きにすべきでない。ミステリーウォークなどは、募集人数を超えた参加があった点を示すなど、表現を工夫ください。

○事務局

- ・次年度の支援事業について友の会と契約するので、その内容を含めて修正したい。

○櫻場委員

- ・今の時点では、まだ具体的な事業は考えていない。ミステリーウォークなどを通して、日常生活に公共交通を取り入れてもらうような取組みを進めたい。

○中川一委員

- ・武豊町で進めている「ゆるきやら」にバスに乗ってもらったらどうか。

○事務局

- ・これまでやったことがない。検討してみます。

○伊豆原座長

- ・町民だけでなく、観光客など、ここを訪れる人も意識した、地域をめぐるPRもあっても良いのではないか。
- ・また、地元高校生などにも地域をめぐってもらうなど、地域の理解を深める取組みなども是非やっていただきたい。
- ・口で言えることはいっぱいあるが、実際にやることは準備等大変なので、やれることから是非お願いしたい。そうした取組みは、大岩委員の社会福祉協議会などと連携しながら進めていただけたらと思う。
- ・補助申請は、6月ごろに申請することになるだろう。県の動きと相談しながら進めて欲しい。
- ・なお補助金申請はここで議論する。その補助金は交通事業者に振り込まれることになっている。しかしながら、これまで補助金が振り込まれたことが報告されていない。他の交通会議でも聞かない。いつ補助金が入ったかを皆さんで共有することが大切だと思う。交通事業者から報告してもらうべきではないか。
- ・メンバー交代もあるかと思いますが、この報告事項について確認させていただいたとして、次の議事に移ります。

3. その他

○事務局

- ・地域公共交通網形成計画の対応は先ほど確認したとおり、会長、座長、事務局で修正対応し、修正したことは別途報告します。
- ・次回の会議開催は6月ごろを予定。
- ・各組織で交代がある場合は事務局に報告ください。

○村上委員

- ・ルートの変更について、廃止する箇所もある。利用があった方のために、町で1箇所ではなく、地域を分散して説明会を開催して欲しい。

○伊豆原座長

- ・説明会については、委員の皆さんからのお声掛けもお願いします。説明会の曜日・時間も相談していただきながら対応ください。

○勝田委員（交通事業者）

- ・補助金の件は報告をさせていただく。
- ・公共交通は、交通事業者のものではなく、住民のものとして事業を進めたい。
- ・緑ルートの変更は、利用されている人を通して変更の説明が進められればありがたい。それができるのがコミュニティバスの強みだとも思う。運転手による説明の協力もさせていただきたい。
- ・イベントのシャトル対応については、駐車場を有料化して、駐車場料金収入をつかってシャトルバスを走らせている取組みを聞いたことがある。いろんな知恵を参考に、取組みが展開できればと思う。

○伊豆原座長

- ・みなさんからの知恵をいただきながら、ここで議論できればと思う。

4. 閉 会

○初山町長

- ・いろんな立場からご意見をいただいた。ありがとうございます。
- ・公共事業をやめる場合、いろんなアジェンストの意見がある。廃止することだけが伝わり、改善していることが伝わらない。本日の意見では、観光産業の活性化、高校生の利用などのアイデアを頂戴した。さまざまな組織での新人研修で町を回ると思うが、このバスを使ってもらい体験してもらうことも面白いかもしれない。
- ・今後とも引き続き友の会さんには、お世話になります。また、委員の皆さんにも引き続きご指導のほどお願いして、閉会とさせていただきます。
- ・本日はありがとうございました。

○司会

- ・以上をもちまして「武豊町地域公共交通会議」の第19回会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上